

綾瀬市の移動支援への取り組みについて

綾瀬市福祉部福祉総務課

課長 佐藤

綾瀬市は・・・

○人口（令和4年4月1日現在住民基本台帳人口）

84,351人

○市の主な特徴

- 鉄道駅が無く主な移動手段は自家用車や民営のバス等。
- 北から南へ流れる3本の河川による、河岸段丘と平坦地によって形成され坂道が多い。
- 市内には、工場や農地が多くある。

民生委員・児童委員の方々へのアンケート/H30年度 結果

○ 移動や外出に関して交通手段で困っているという地域の声

- バスの本数が少ない。
- 公共施設に行くのに不便。
- スーパー、コンビニ等が近くにない。
- 免許返納後の移動手段が心配。
- 坂が多く、買い物したあとの荷物が大変。
- タクシーを利用しているが金額がかさむ。

○ その他、外出に関する要望、・意見

- 買い物支援が必要（重いものの配達も）。
- 自治会等でのイベントに送迎があると助かる。
- イベント等の送迎で保険等リスク管理が出来ればボランティア送迎も考えられる。
- 社協の送迎は収入制限があり使えない、一般の車椅子の人も使えるようにしてほしい。
- 自分の車でご近所の方を週1回くらい買い物に連れて行っている。

【福祉支援団体交流室運営事業委託】

- 総合的な保健福祉サービスを提供し、高齢者、障がい児者、子育て世代などからのさまざまなニーズに対する相談と支援の拠点「綾瀬市保健福祉プラザ」がH29.10月開設。
- 保健福祉プラザを拠点として、新たな福祉団体の発足から自立までの支援をはじめ、既存の福祉団体への運営支援等を行い、市内における福祉活動の活発化と地域福祉の向上を図るため、福祉団体交流室を設置。

綾瀬市の支援制度・・・

①（ヒト）

【コーディネーターの派遣】

認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワークと福祉団体育成を目的として業務委託を行っており、住民参加型移動支援団体の立ち上げ・活動の支援を行っている。

【外出支援担い手養成講座の開催】

年に数回、移動支援団体のためのドライバーや介助員等の担い手の育成や発掘を目的として外出支援担い手養成講座（国土交通大臣認定福祉有償運送・セダン等運転者研修）を実施している。

②（モノ）

【住民参加型移動支援用貸出車両の整備】

一般社団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するために助成を実施しているコミュニティ助成事業を活用し、令和2年度に住民参加型移動支援用貸出車両として、10人乗りのハイエースを購入し、貸出を開始した。

乗り込み時、ステップが自動展開され、車内に手すりが設置されており、高齢者や障がい者の方がより利用しやすい仕様になっている。

③（オカネ）

【住民参加型移動支援事業補助金交付】

住民相互の助け合いにより、高齢者や障がい者等を対象に、買い物やサロン送迎等の移動及び外出支援を行う住民参加型移動支援事業に要する経費について補助金を交付する。

○補助額※次のいずれか低い額（上限35万円）

- （1） 補助対象経費に3分の2を乗じて得た額
- （2） 総事業費から寄付金その他収入額を除いた額

○補助対象外経費

団体の事務所等の維持経費、団体構成員による会合の飲食費、不動産等の取得に要する経費など

【福祉有償運送事業補助金】

福祉有償運送を行う団体に対して財政的支援を行うことにより、公共交通機関を一人で利用できない身体障がい者や高齢者の外出機会の提供と、安全・安心な移動支援サービスの普及促進につなげ、地域福祉の向上を図る。

○補助額

年額60万円（上限額）、期間5年以内

○補助対象経費

福祉車両にかかるリース料の2/3

綾瀬市の移動支援の現状・・・

1. 「NPO法人 おでかけ綾瀬」

2019年9月、地域の仲間12名で「困ったときはお互い様」の気持ちを基本に、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい人生を送る一助になることを願って、外出支援サービス（福祉有償運送）を提供するNPOを立ち上げ。

2020年4月から外出支援の事業を開始し、コロナの感染防止対策をしながら高齢者や障がい児者の通院や通学、買い物等外出の支援を行っている。



福祉有償運送車両

2. 「吉岡買い物支援プロジェクト」

吉岡地域の高齢者等の買い物の足を確保する「買い物支援ツアー」を地域住民のボランティア活動（無償運送）として、2019年10月から運行を開始。コロナの感染予防対策をして、住民のニーズに応え、現在月3回（月2回火曜日にロピア綾瀬店へ、月末の土曜日にタウンヒルズへ）の買い物ツアーを行っている。

車両は地域の（社福）唐池学園の協力とボランティアの自家用車の提供を得て運行中。



「吉岡買い物支援プロジェクト」お買い物の様子

3. 「綾西みんなの足」

綾西地区にお住いの高齢者の皆さんが、お出かけしやすいように様々な「暮らしの足」を作っていくことを目的に、住民参加による「みんなの足」の活動を展開。

現在は「バザール大市のお帰りの足」の運行を定期的に行い、自力では行けない人限定で「コロナワクチンの集団接種会場への送迎」も実施中。2021年10月から国総研のグリーンスローモビリティ（綾西くるりん号）の実証実験運行を5か月間行った。2022年4月からは「地域のサロン活動と買い物支援」も開始し、広く活動している。



「綾西みんなの足」お買い物の様子

4. 「寺尾南おでかけバスプロジェクト」

2022年6月から住民主体の本格運行を開始。月1回、フレスポ綾瀬（スーパーエイビイ等）への運行を実施中。集合場所からそれぞれの自宅近くまで送迎を行っている。「重い荷物があっても助かる」と喜ばれ、利用希望者も増加。地域の社会福祉法人「杜の郷」の協力でワゴン車2台をお借りして11月から市公用車含め3台で運行。



「寺尾南おでかけバスプロジェクト」お買い物の様子

利用者の声について・・・

今後の課題と方向性について・・・

【担い手不足】

運転手、介助者など担い手の不足が各活動団体の今後の課題であり、引き続き地域の人材を育成するため担い手養成講座を開催するとともに、市内の活動状況などを紹介、積極的な事業参加を呼び掛けることで新たな人材を育成、発掘を行う必要がある。

【運営の充実とさらなる地域の広がり】

今後の事業の参考に役立てられればと市内移動支援団体の交流会を定期的に実施、ヨコのつながりを作ることで各団体の運営の充実を図る。

また、未だ本格的な活動に至らない団体にも参加されるよう積極的に声掛けを行い、今後の新たな移動支援団体の立ち上げにつなげていく。

以上、ご清聴ありがとうございました。